橿原市立晩成小学校学校だより
晩成っ子
10月号 2026
tel　0744（22）6121
fax　0744（22）6122
橿原市小房町1-54

読書の秋を楽しもう

「秋の日はつるべ落とし」ということわざもありますが、日の暮れるのが早くなりました。午後５時ごろには薄暗くなるので、放課後校庭で遊ぶ子どもたちに、「暗くなる前に早く帰りましょう。」と声をかける毎日となっています。

これからはどんどん日が短くなり、夜が長くなりますが、**この時期おすすめなのが「読書」**です。

吉田裕子さんの書かれた**『10分読書』**という本を読んでから、私は平日は１日10分と決めて好きな本を読んでいます。最近は、喜多川泰さんの『賢者の書』という本を読みました。何かとうまくいかないと感じている主人公が、9人の賢者に逢うために旅をする少年と出会い、彼の旅の記録を読むうちに、心に変化が生じていくお話でした。休みには１時間読んだりして、１週間で読むことができました。

吉田さんは、小学生の時に**『少女パレアナ』**という本を読み、現在に至るまで主人公パレアナの「喜びの遊び（どんなときも喜びを見いだそうとする遊び）」を自身の生き方に生かしておられるそうです。

私にも幼稚園の頃、母に買ってもらった絵本で今もときどき読み返す大好きな作品があります。渡辺茂男さんの**『しょうぼうじどうしゃじぷた**（山本忠敬さん絵）』です。消防署に大きくて立派な消防車の並ぶ中で、小さなボディの「じぷた」が、自分にしかできない働きがあることに気づき自信をもっていくお話です。



私（仲川）の母は戦時の生まれで、本に親しみ読み浸れる幼少期ではなかったようです。口癖のように「本を読むことは大事」と言って、時間を見つけては本を開いていました。婚家で母は家計を内職で支え、決して裕福な家庭ではありませんでしたが、私が欲しがる本は惜しまずに買ってくれた記憶があります。一方、私の子育ては、働いている忙しさから、我が子が本を読むことについて関心が薄かったように思います。

私の娘は今、親元を離れ働きながら子育てをしていますが、休みに一緒に図書館に行ったり寝る前にはお話を読んで聞かせたりしているそうです。本当は自分もしてほしかったのかなと、胸がキュッとなります。

秋の夜長。読み聞かせもよし、横に並んで別々に読書しながら、お互いの読んだ内容について語るのもよし。親子で読書に浸ってみませんか。



クイズ　晩成小学校に、毎月読み聞かせに来てくださっているボランティアさんの　会の名前は何でしょう。　こたえは右下

読書活動の充実に向け、こんな工夫をしています！

低学年の例

１年生　「ハッピーどくしょ」

最初から最後まで読んだ本の表紙を、自分でロイロノートのカメラを使って撮影し、台紙に貼ることで、どんな本を読んだか振り返ることができるようにしています。また、担任が読み聞かせを行うことで、子どもが本に興味をもち、自分でも読んでみたくなるような環境づくりをしています。

２年生　「読書ビンゴ」

絵本、物語、図鑑、理科や歴史のクイズやマンガ、音楽・美術、ものづくりの説明本・・・他にもいろいろなジャンルがあり、いろいろな本に出会ってほしいと考えています。そこで、「読書ビンゴ」と題し、ゲーム感覚でいろいろな本に手を伸ばせるような働きかけをしています。また、定期的に読み聞かせも行っています。

もうすぐ運動会！だけど気になるお天気

運動会に向け、表現や徒競走、リレーに団体競技と、子どもたちは毎日一生懸命練習に取り組んできました。 いよいよ次の土曜日（10月24日）が運動会本番ですが、あいにく天気予報では予備日の26日（月）も含めて雨マークがついており、天候が非常に気になるところです。 子どもたちの元気で雨雲を吹き飛ばし、これまでの練習の成果を存分に発揮できるよう、職員一同切に祈っております。

【保護者の皆様へのお願い】 開催が可能と判断した場合でも、前日までの雨でグラウンドに水たまりが残ってしまう可能性がございます。 当日朝、コドモンにてグラウンドの水抜き（準備）のお手伝いを呼びかけた際は、可能な範囲でご協力いただけますと大変助かります。 また、運動会終了後の会場の片付けにつきましても、あわせてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

クイズの答え　みどりの会



毎月末の金曜日、お昼休みを利用して、ボランティアさんが読み聞かせの会をしてくださっています。

つどいの部屋で、大型モニターに投影される絵本を見ながら、たくさんの子どもたちがお話の世界に引き込まれています。

修学旅行、遠足、運動会など行事の様子は、次号でお知らせする予定です。